

【5. 広域交流ネットワークの確立】

<small>ひがしきゅうしゅう じどうしゃどう</small> 東九州自動車道	<small>さいき</small>	<small>きたがわ</small> 佐伯～北川
～ 高速交通ネットワーク形成に伴う産業・経済の発展 ～		

1. 概要

東九州自動車道は、北九州市を起点に、大分県、宮崎県及び鹿児島県の東九州地域を縦断する延長436kmの高速自動車国道であり、九州における循環型高速交通ネットワークの形成に大きく貢献する道路です。

このうち佐伯～北川間L=46kmについては、平成15年度に蒲江～北川間、平成17年度には佐伯～蒲江間が新直轄方式へ移行されました。平成19年度も引き続き早期供用に向け、事業を協力を推進していきます。

場所： おおいた 大分県 さいき 佐伯市 かみおか 上岡～ みやざき 宮崎県 ひがしうすき 東臼杵郡 きたがわまち 北川町

諸元： L=46km、W=12m(暫定2車線)

事業着手

佐伯～蒲江 平成17年度

蒲江～北川 平成15年度

※事業着手は、新直轄方式に移行した年度を示す。

供用予定

—

平成19年度事業費

10,850百万円



2. 平成19年度の整備内容

- ・用地買収を全面展開するとともに、青山橋下部工工事、家田地区改良工事等を促進します。
- ・また、陣が峰トンネル工事等に着手します。

3. 整備効果

- ・高次救急医療サービスを支援します。
- ・豊かな水産品の輸送を支援します。
- ・観光地へのアクセスが向上します。